



特集記事

「日本パーマメントウェーブ液工業組合  
技術委員会雑録史 ②」

理事 小林 均司

巻 頭 言  
第57回総会報告  
特 集 記 事  
技術委員会報告  
M G K 便 り  
事 務 局 だ よ り  
編 集 後 記

副 理 事 長 間 仲 博  
理 事 半 澤 則 広  
理 事 小 林 均 司  
技 術 委 員 長 岡 野 み の る

# 巻頭言



日本パーマネットウェーブ液工業組合

副理事長 間仲 博

この巻頭言はエリザベス女王の訃報が届いた時点で書いております。今年に入り今までの常識では考えられないような事件が起きています。ロシアによるウクライナ侵略(特別軍事作戦?)、国内では安部元首相の暗殺、経済面では資材の高騰、そして25年ぶりの円安などですが、災害に関して近年は100年に一度と言われる自然災害が毎年のように世界中で起っています。パキスタンでは国土の三分の一が冠水、また世界各地で自然発生の山火事、最高気温の更新など只々ニュースに接するだけで本当に現実の世界の出来事なのか?いや、以前映画で見たことのあるようなシーンが実際に起きているのです。そしてコロナ禍は3年目に突入し、第6波の後、かなり感染者数が減り、やっとコロナも収束が見えてきたのかと一息ついている間に第7波のピークが来てしまいました。

私にとっての唯一の明るいニュース、それはMBLにおける大谷翔平選手の大活躍ですね!

野球は普段見ないのですが、毎晩、スポーツニュースをチェックし元気を貰っています。世の中、悪いニュースより明るいニュースが多くなれば良いのですが…

美容業界ですが、今年は4年ぶりに「第9回アジアビューティエキスポ2022」が開催されました。私も久々の外出で会場へ行きましたが予期した以上の人出に良い意味で驚きました。総来場者数は3万人と大成功でした。さすがに外国の方は少ないですが会場の活気には大いに刺激を受けました。コロナ禍において関係者の皆様の約2年間に亘るご努力に心より敬意を表したいと思います。最近は各種イベントの開催も再開されつつあるようです。これまではリモート会議、リモートセミナーで凌いできましたがやはりリアル対面も必要だと感じる次第です。今、このデジタル(リモート)とアナログ(リアル対面)の融合を「ハイブリット」と表しているようです。今後はコロナ禍が生んだ新しい手法として営業活動を中心にいろいろな分野でこの考え方が活用できるのではないのでしょうか。

さて当組合の活動ですが、昨年、会員の皆様へ当組合の今後の活動への要望に関するアンケート調査をさせていただきました。組合活動には大きく分けてハードとソフトの二つがあると考えています。ハード面は本来の組合活動の原点であるパーマ剤に関する安全性と業界の安定、発展を目的とし、また厚労省との窓口としての活動を指します。ソフト面はウェブ誌の発行を主に各種広報活動、そして近年はパーマ需要の活性化を目的としたイベント活動等を指します。アンケート結果をもとにこの二点に関する実績の評価と将来の進むべき方向へのご意見を参考に検討会議を行いました。その結果、当面は先ずハード面を確実に実施していくこと、そしてソフト面に関しては会員の皆様に現実的にお役に立てることを優先する、またパーマ啓蒙活動等は業界の動きを見ながら柔軟に対応していく事としました。その第一弾として8月から9月にかけて実施した会員各社様の若手向けに薬事業務初心者セミナーをWeb開催しました。また11月17日には令和4年度薬事説明会をWebセミナーとして開催いたしますので是非ご参加ください。当組合の活動に関し今回の薬事業務初心者セミナーの感想を含め、ご意見がございましたら組合事務局までご連絡をお待ちしております。

パーマ剤の出荷統計ですが本年1~6月の調査結果を見ますとチオグリコール酸含有パーマ剤が増、化粧品カール剤が10%の伸び、そして出荷合計は7%の伸び(金額ベース)となり、パーマ剤の下落は底を打ったと思われます。

最後に当組合の人事のお知らせです。長年、当組合の活動、特に厚労省への対応等に貢献していただいていた木嶋顧問が本年3月で退任され、新たに中村陽子顧問をお迎えすることになりました。木嶋顧問には非常勤顧問として今後も在籍していただきます。

中村顧問は京都大学薬学部をご卒業後厚生省に入省され、その後薬務局審査課在職時に当組合と共に過酸化水素2剤の承認にご尽力いただきました。

当組合はハード、ソフトの両面でパーマ市場復活に向けて努力をしております、会員の皆様のさらなるご指導、ご支援を引き続きよろしくお願い申し上げます。